

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2026年7月1日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	株式会社アルファ水工コンサルタンツ
所 在 地	〒063-0829 札幌市西区発寒9条14丁目516番336
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 堀江 岳人
担 当 者 連 絡 先	電 話：011-662-3331（担当 秋田 雄大）
	メー ル：gi-kanri@ahec.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://ahec.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和59年に創業した建設コンサルタント会社であり、全国の港湾、漁港、沿岸域における調査・計画・解析・設計等の業務を実施しています。
--

3 側 面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
□環境 ✓社会 ✓経済	合理化、生産性向上による時間外労働を短縮する。	月平均時間外労働時間 【現状】 通年18時間、ピーク月 25時間 【目標】 通年10時間、ピーク月 15時間
✓環境 □社会 ✓経済	カーボンニュートラル実現に向けた業務の取り組みを強化する。	洋上風力発電等、脱炭素関連業務の受注額 2021 年度比 300%以上の増額
✓環境 ✓社会 □経済	社有車の電気自動車等エコカーへの転換を進め、CO2排出量を削減する。	社有車のエコカー比率 【現状】 80% 【目標】 100%

(様式第2号)

企業・団体名(株式会社アルファ水エコンサルタンツ)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	就業規則において、各種ハラスメントに対する具体的な制裁、苦情相談窓口(管理部)の設置を規定している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	就業規則において、各種ハラスメントに対する具体的な制裁、苦情相談窓口(管理部)の設置を規定している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・部長以上の定例会議において、時間外労働の状況を共有し、勤務時間管理を徹底している。 ・毎週水曜日をノー残業デーに指定し、定時退社率を公表している。								8.5 8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	外国人労働者への直接の聞き取りや配置部署への教育を通じ、差別等がないことを確認している。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる				3					8							
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	年1回のストレスチェックや長時間労働者への医師面談を遵守し、メンタルヘルスの改善を図っている。			3												
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・2022年「えるぼし(3段階)」を取得し、女性活躍を推進している。 ・高齢者の継続雇用を拡充している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	資格取得手当、資格取得奨励金制度により、積極的な能力開発を啓発している。				4	5.5			8	9						
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・各職務に対する役割、求められる能力を明確化し客観的な人事考課に努めている。 ・非正規社員の正社員登用制度を規定している。					5.5			8.5		10.2 10.3					
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる				3					8							
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる												11.6	12.4 12.5		14.1	
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・ISO14001の環境目標とし、年間使用量を把握し、削減に取り組んでいる。 ・社屋に太陽光発電システムを導入している。							7.3						13		

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
13	【温室効果ガス】 ・ 自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9				6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	ISO14001を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	社屋に太陽光発電システムを導入している。							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	ISO9001による品質管理を行っている。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	ISO9001による品質管理を行っている。									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	ブルーカーボンや洋上風力発電事業等、脱炭素化に向けた事業へのコンサルタントを行っている。 LCCや省資源化を考慮した港湾設計に取り組んでいる。						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	途上国の水産基盤整備を通じた食糧供給や国内外の災害対策、脱炭素化に向けたコンサルティングを行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	海岸清掃や地域の交通安全啓発運動等に参加している。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している									8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	コンプライアンス規程により、法令遵守の徹底と通報、相談などの手順を明確化している。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	ISO14001の担当部署及び管理責任者が整備・管理している。																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）																	16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																	16	
33	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	BCPを策定している。									9		11		13			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9								17